

～ 突撃インタビュー ～

町会活動活性化の秘訣は？

今回は赤坂青山町会連合会会長(赤坂八丁目町会会長兼務)の「西 勇治さん」(3期:3A所属)にお話を伺いました。

平成14年にこの活動に飛び込んで以来、今日までに至りましたが、引継いだ当時の町会はずまく機能していませんでした。そこで、もう一度本来の町会活動に戻すためにはじめたのが、

手作りの「町会だより」の発行でした。

とにかくイベントやお知らせをこまめに記事にし、毎月地域住民のみなさんへ発信し続けました。足掛け12年にもなりましたが、おかげさまで今では住民同士の会話が飛び交い、困難な問題も比較的円滑に解決できるようになりました。



赤坂八丁目町会だより 平成26年11月号145号



行政とも“協働”の精神で！
(創立60周年記念式典・祝賀会で)

1～145号 ▶



各方面への配布以外に
マンション1階ロビーなどに
掲示した「町会だより」

- 行政の後押しもありますが、地域の課題は自分たちで解決するとの想いで積極的に取り組まれている姿に拍手 です。
- 町会員の95%以上がマンション住民という都会型地域にあって、祭りや防災活動などを通じてのまちづくりもされていますが、まだまだ住民とおしの交流がままならないのが現状だろうと考えます。
- 地味な活動ながら、12年も継続した発行活動は、まさに「継続は力なり」です。

(取材)
地域連携部会
川上